



キタ！からきた

だより

第188号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

＜大阪北支部・会員リレー紹介 065＞

レポーター（久司美穂）



今回は、坂東奈々さんです。

坂東さんは、社会福祉協議会で地域支援を担当されています。地域に足を運び、住民の声を聞いたり、地域の行事にも積極的に参加したり、人と人、人と組織とのつながりづくりに力を注がれています。さらに、区内のキャラバン・メイト連絡会や社会福祉施設連絡会、高齢者支援専門部会など、さまざまな組織との連絡会の事務局も担当していて、幅広い役割を担われています。

社会福祉士を目指したきっかけは、2021年3月に介護職員初任者研修の資格を取得したことです。研修での学びがとても面白く、その中で社会福祉士という資格を知ったそうです。高齢者支援だけでなく、児童や障がい分野など幅広い知識が必要だと知り、もっと深く学びたいと思ったことが原点になっています。

社会福祉士として大切にしているのは「権利擁護の視点」。特にあんしんさぽーと事業での支援を通じて、その思いが強くなったと話してくれました。どんな人にも人権があり、その人らしさを守ることが大切。その人の意思が尊重されるよう、寄り添っていくことを心がけているそうです。この言葉を力強く語る姿がとても印象的でした。

坂東さんは、新しいことに飛び込むエネルギーを持ち、挑戦を楽しめる前向きな方と感じました。一筋縄ではいかないことも多いお仕事ですが、常に人と関わることを楽しみ、地域のために支援する熱い思いが伝わってきました。



大阪北支部 研修報告 『気づきの事例検討会を開催して』

大阪北支部では、稲松真人先生をスーパーバイザーにお迎えして、令和7年度も「気づきの事例検討会」を3回開催いたしました。

児童分野や障がい分野などの多彩な事例を、多様な機関の参加者で検討しました。なかなか知る事のない事例や、関わる事の少ない支援機関の事を知れたことは新鮮でしたが、支援の本質には共通するものがあるようにも感じました。また、様々な支援の場所で社会福祉士の仲間が、悩み葛藤しながら支援していることを、あらためて実感する機会でもありました。

「気づきの事例検討会」では渡部律子先生のテキストを用いて、事例を丁寧に振り返りながら、利用者(クライアント)により良い支援を提供するための実践力を身につけることを目標にしています。“事例の解決案探し”より“支援者自身のかかわり”に焦点を当てるため、サポータティブな場づくりがとても大切だと感じています。

そのこともあり、今年度は「事例検討会の事前学習会」という新たな試みもはじめました。私自身、支援方法に悩み迷っているときに事例検討会に参加したことが社会福祉士会の活動のきっかけになりましたので、事例検討会の場が続いていることは感慨深いです。

来年度以降も、社会福祉士の仲間の実践力向上の場として、また思い悩んでいる社会福祉士の仲間の「きっかけ」や「気づき」の場として、この事例検討会を続けていければと思っています。

ご興味のある方は、来年度もぜひ一緒に「気づきの事例検討会」を体験してみませんか？ご参加お待ちしております！



★★大阪北支部公式 LINE アカウントのお知らせ (※他支部の方の登録も大歓迎です！！)
情報が早い！情報が手元に届く支部公式 LINE。現在、250名の登録を突破しました！
LINE「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するか QRコードをスキャンしてください。

